

# 焼岳の火山活動解説資料（平成 23 年 5 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、焼岳周辺では地震活動が活発な状況となっていました。その後、地震活動は低下してきています。  
 火山性微動の発生等、直接噴火活動に関連するような変化は認められておらず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。  
 平成 23 年 3 月 31 日に噴火警戒レベルの導入に伴い噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

## ○ 活動概況

### ・噴気など表面現象の状況

山頂部や岩坪谷には従来から噴気孔がありますが、噴気の異常は確認されていません。

### ・地震活動（図 2、図 3※）

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、山頂直下～北西麓の浅い所での地震活動が活発化しましたが、その後、地震活動は低下してきています。  
 火山性微動や低周波地震は観測されませんでした。

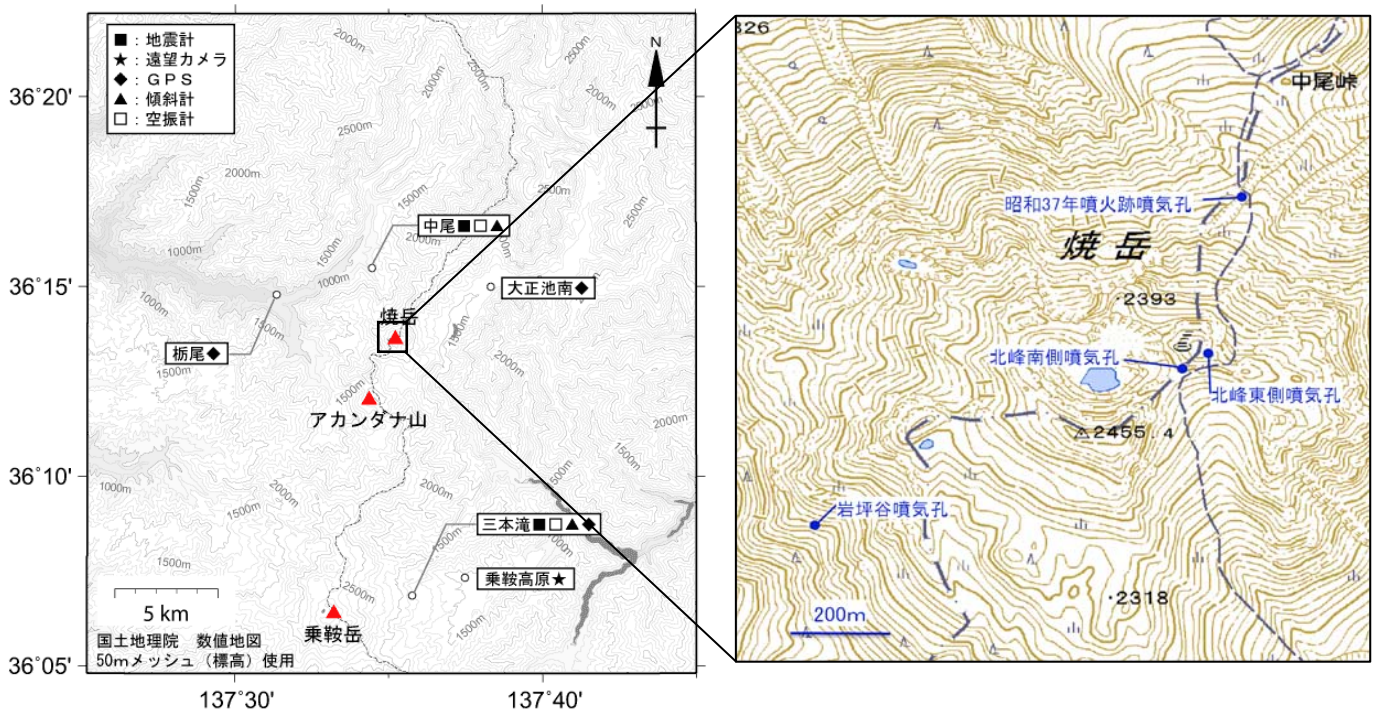


図 1 焼岳 気象庁の観測点配置及び噴気孔の位置

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 6 月分）は平成 23 年 7 月 8 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、京都大学、名古屋大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『2万5千分1地形図』『数値地図25000(行政界・海岸線)』『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平20業使、第385号)。

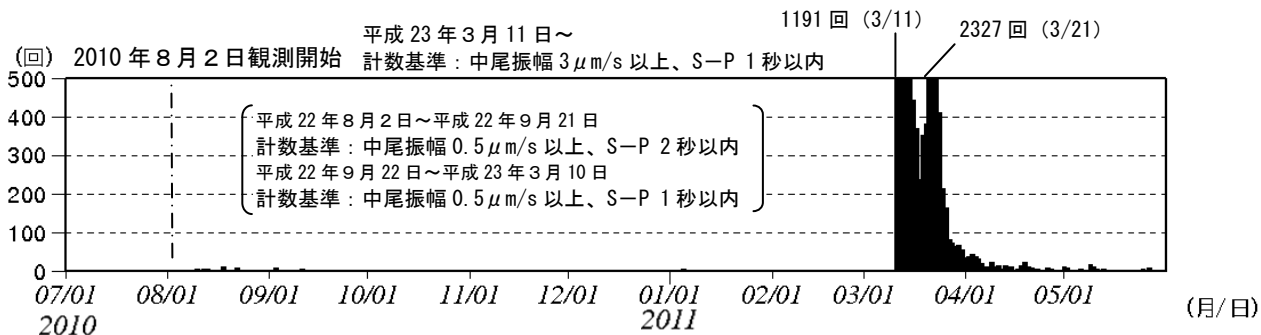


図2 焼岳周辺の地震回数

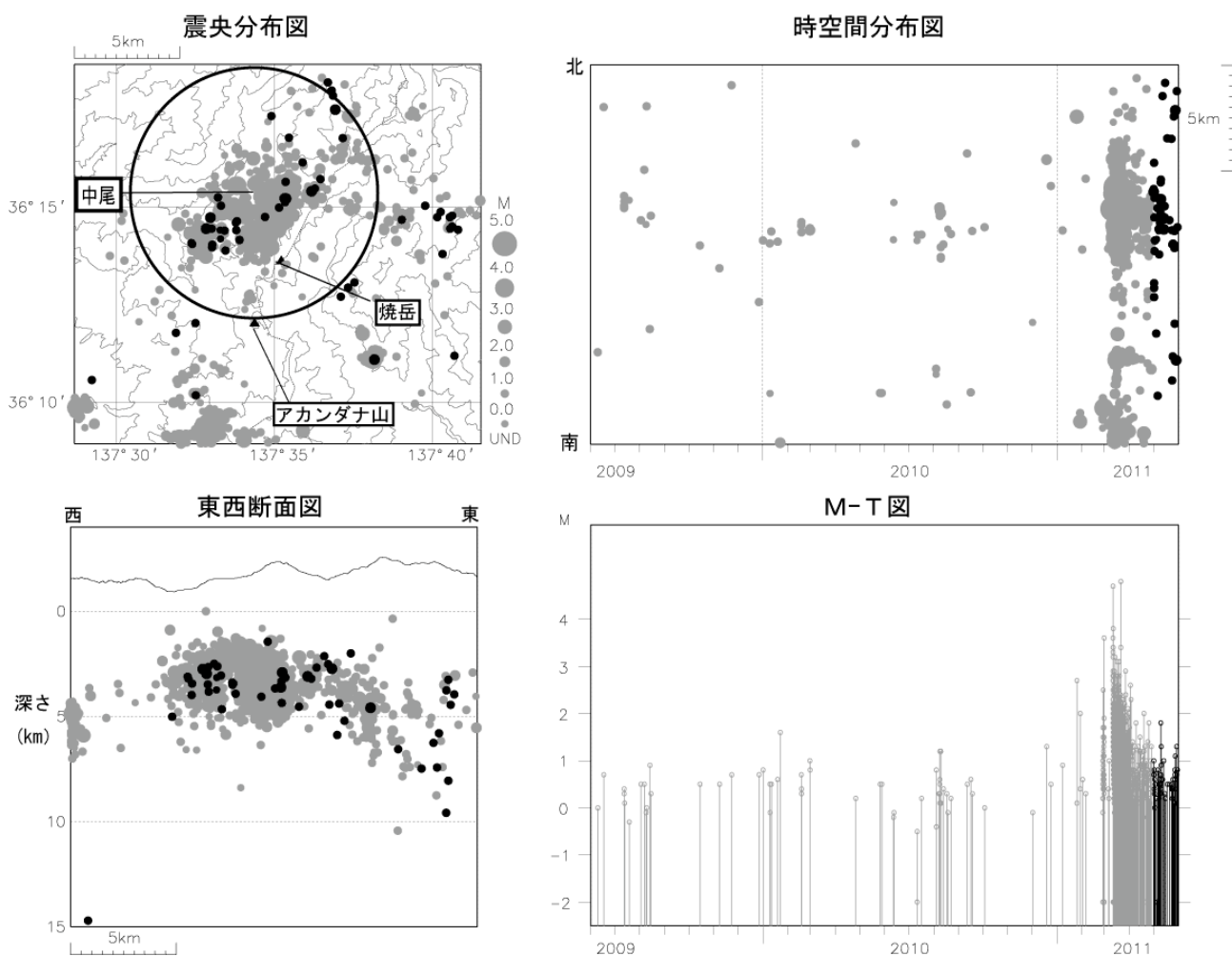


図3※ 焼岳 広域ネットによる山体・周辺の地震活動(2009年6月1日~2011年5月31日)

● : 2009年6月1日~2011年4月30日

● : 2011年5月1日~5月31日

震央分布図中の円は図2の計数対象地震(中尾でS-P時間1秒以内)のおよその範囲を示します。

M(マグニチュード)は地震の規模を表します。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。